

令和四年 新春訓示

昨年 2021 年はどんな年でしたでしょうか。毎年恒例の日本漢字能力検定協会 [R3. 12. 13] が行う 1 年を振り返り世相を表す漢字一字は、『**金**』でした。「金」が選ばれるのは 2000 年 (H12)、2012 年 (H24)、2016 年 (H28) に続いて 4 度目です。「東京オリンピックが無事開催され、日本の金メダル獲得数が史上最多 [金 27 個、銀と銅を含めると計 58 個のメダルを獲得し、どちらも史上最多]」だったことや、「大谷翔平選手や藤井聡太四冠などが**金字塔** [不滅の業績] を打ち立てた」こと、また「コロナ禍で生活が困窮する方々に多くの支援金が充てられた」ことなどが選んだ理由だそうです。『**金**』と言え、**値打ちあるもの**ですが、昨年に引き継ぎコロナ一色の一年ではありましたが、その中であって素晴らしい成績を残していることに対する国民の熱い気持ち、思いを表した文字でした。

さて、昨年、新春訓示で申し上げたことを思い出してほしいのですが、2021 年は「**辛 (かのと) 丑年**」でした。**辛**の年は辛い「**余分なものを取り除いて、新しい輝きに向けて進む**」という「**革新**」の流れに向けて、「**丑 (うし)**」は、殻を破るしっかり基礎を作り、足固めをして発展して行くための方法を色々つかと模索しながら掴んで行くような流れを持つ年と申し上げました。また、コロナによる経済不況もしばらく続き、これに伴う社会の改革は 2021 年から 2023 年ころまで続きそうで、今までの**価値観、土地への信頼、常識が強引なまでに変更を強いられる一年**になりそうだと申し上げました。正しくそのような年であったかと思えます。

そのために、去年の挨拶では、

一昨年申し上げた 3 つのことを継続しつつ、更に 3 つのことを加え、**自ら考え取り組んでいって欲しい**と申し上げましたが、皆さんいかがですか、できましたでしょうか。

一昨年は、次の 3 つを申し上げました。

- ① **過去の慣習にとらわれず、施設理念に沿った「明るく、思いやりのある、家庭的なケアの実践」に向けて弛まず質(=サービス)の向上を目指して変革していただきたい。**
- ② **元号「令和」の「和」を重んじていただきたい。チームワークやエンゲージメント(愛着心)の強化**
- ③ **仕事の仕方「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」の実践、徹底した理念「明るく、思いやりのある、家庭的なケアの実践」の追求 まずは挨拶の徹底からと申し上げました。**

昨年は、次の 3 つでしたね。

- ① **ピンチをチャンスに変える“プラス思考” コロナから学ぶ姿勢**
これからの世の中は前進しにくい停滞ムードになる恐れがあります。したがって、壊れたもの、失ったことをきっかけとし新しい何かを始める再構築の年にすることです。
- ② **テクノロジー進化に伴う情報収集・選択(適正なチェック)と危機管理(リスクマネジメント)**
リスクマネジメント委員会で取り上げ、マニュアル作り(コロナ感染マニュアルや業務マニュアル作成)

ますます変化の時代を迎え、様々な情報に不安や疑問を感じる中、迫りくる高齢化社会や来る災害などに向けた備えを着実に計画しておくことです。

③ 人の結びつきを大事にする(人間関係を見直す)、コミュニケーション

自分が口にする言葉の影響力を考え、人から言われた言葉にも色々ヒントが有ることを意識して聴く。あるいは、友人や家族だけでなく、ライフラインの連絡網も整えてみる。

ということでしたね。

さて、皆さんできたでしょうか？

さて、今年、「**壬(みずのえ)寅年**」です。^{みずのえ}壬の年は、定着の年であり「**厳しい冬を耐え、内に蓄えた陽気で次代の礎になる**」という「**次の生命を育むための準備期間**」の意味があり、「寅(とら)」は、豊穡を助けるミミズが土の中で動き、春の芽吹きが始まった状態、春の胎動を感じる新しい生命の誕生」を意味する**スタートの年**とされています。即ち、^{みずのえとらどし}壬寅年は、「**厳しい冬を耐え、生命力あふれる春の芽吹きの中で華々しく誕生する一年になる**」ことを暗示しています。

それでは、新年迎えるに当たって、今年の暗示に即した次の3つのことを念頭に置き、自ら考え、行動して欲しいと思います。

① 自分の強みを把握し、来る変化をチャンスにする

顧客指向性(顧客ニーズ把握力+サーピス精神)を身につける、です。

ケアニンでも見たとおり、直接的に利用者に接し、利用者は何を自分違に求めているのかを敏感にかつ正確に把握することで、その利用者の要望に応じていく力を身につける、です。

② 地道な自分磨きを行い、実力を養う

自分の外見(健康な体、身だしなみ、正しい姿勢)や内面(勉強、趣味・習い事、読書、規則正しい生活、断捨離)をバランスよく磨いて**、今よりもっと素敵な自分になれるように努力する。**

そして、段々世の中の気運も高まっていますが、

③ 2022年は「心の時代」。相手を思いやることを意識した行動です。

利用者への介護は、癒やしを提供する接客やサービスです。また、職場の仲間は、人間関係やパートナーシップにおいて、相手の気持ちを理解し思いやることが大切です。

さあ、今年はこの3つを念頭に置いて頑張っていたいただきたいと思います。

以上、**申し上げたことを充分理解し、**新しい年の楽々苑にしていきましょう！

以 上